

(2) 期日・会場・参加者

管 内	期 日	実 施 課 程	会 場	人 数
県 北	昭和49年9月8日	保 育・速 記	福島市中央公民館	21名
	昭和49年11月17日	保 育・速 記	福島市児童文化センター	16名
	昭和50年1月19日	保 育・速 記	福島市中央公民館	8名
県 中	昭和49年10月27日	保 育・レタリング	郡山市中央公民館	23名
	昭和49年12月8日	保 育	郡山市中央公民館	18名
	昭和50年1月26日	保 育・レタリング	郡山市中央公民館	20名
会 津	昭和49年9月15日	保 育	会津若松市公民館	22名
	昭和49年11月17日	保 育	会津若松市公民館	24名
	昭和50年1月26日	保 育	会津若松市公民館	26名
い わ き	昭和49年7月21日	保 育	いわき市社会福祉センター	11名
	昭和49年10月6日	保 育	いわき市社会福祉センター	12名
	昭和49年12月8日	保 育	いわき市社会福祉センター	6名

(3) 講師・助言者

① 面接講師

日本学芸協会	倉園 昭雄
県立福島農蚕高校教諭	佐々木久子
福島女子短期大学助教授	渡辺 俊彦
早稲田速記	栗城 正義
日本学芸協会	橋本 正幸
郡山光風学園	橋本 チョ
福島学園長	安藤 正尚
日本通信美術学園	讃岐 純
福島女子短大附属幼稚園	佐々木栄子
日本学芸協会	小林金次郎
若松第一幼稚園	竹内 純子
浜児童相談所	掘越 時雄

② 助言者

県教育庁社会教育課社会教育主事
 県教育庁教育事務所社会教育主事
 開催地市教育委員会社会教育担当者

要する経費の一部を補助する。

(2) 実施主体 高等学校開放講座運営委員会

① 運営委員会組織

開設希望市町村教育委員会・地域社会教育関係団体地域
 職域関係団体・開設高等学校・講師・受講生・教育事務
 所社会教育担当職員

② 補助対象

福島県社会教育活動費補助金の交付に関する要綱、別
 記3高等学校開放講座費に基づく、高等学校開放講座運
 営委員会による高等学校開放講座 7講座

③ 講座及び学習時間数

一講座構成はおおむね40人、学習時間数は一人30時間
 以上(実施は継続又は断続開講による)

④ 講座内容

地域の特性や受講者の求める学習課題及び開設校の施
 設設備や教職員の状況を考慮し、運営委員会の協議によ
 り、系統的講座学習の内容を定める。

ア、農・工・商業等職業・技術・生産に関する講座

イ、家庭生活・家庭教育等に関する講座

ウ、芸術・体育・レクリエーション・趣味等に関する講座

エ、政・経・法・時事問題等に関する講座

オ、自然科学・文化・郷土史・文学等に関すること

カ、その他、特に必要と認められる講座

(5) 補助金 1講座につき5万円を交付する。

14 高等学校開放講座

(1) 趣 旨

県立高等学校の専門教育機能を活用して、地域の青年・
 成人に対し、専門的学習の推進・充実を図るため、高等学校
 開放講座運営委員会が行う高等学校開放講座の開設・運営に

(6) 昭和49年度高等学校開放講座開設一覧

開放講座運営委員会名	講 座 名	内 容	対 象	期 間
安 達 東 高 等 学 校 開 放 講 座	婦 人 百 科 講 座	身近な素材を生かした手芸食生活の工夫 を通じて、家庭婦人の生活に創意とるお いを養うことをねらいとする。	東和町 家庭の主婦 40名	11月～1月
	農家経営と最近の農業技術	当地域の農家経営の問題点と最近の農業技 術についての情報を提供し、考える経営、 創意と工夫のある経営の実践に資する。	東和町 農家経営者 40名	7月～9月
東白川農商高等学校 開 放 調 座	高 等 農 民 講 座	当地域の立地条件に合致した作目を中心と した学習を通して技術の習得をえらせる。 特に旧冬の石油危機に端を発した営農資材 の高騰と不足に対応する方法と生産流通の 近代化による安定経営の文法について研究 してゆく。	一般成人 40名	1月中